

札幌市署名期間
9月14日(金)～
10月14日(日)

北の大地からの挑戦！戦争しないまち・札幌へ 直接請求いよいよ開始！全国の支援を！

無防備地域宣言をめざす札幌市民の会 谷 百合子

札幌はトンボが飛びかい、風は秋の気配です。真青な空の下で、スタッフの顔も青く(?)目を三角にして走り回っています。

綱渡り！の日々

昨年9月にスタートした会は、低空飛行を続けていましたが、前田朗さんの講演会が特大の写真で新聞に掲載され、続いて上原公子さんの講演会に百名余の参加があり、弾みをつけてきました。7月29日のジュネーブ条約追加議定書30周年国際シンポジウムも、札幌がスタートを切らせて頂き、参院選投票日にもかかわらず、盛会に終了しました。全交大会東京では多額のカンパを頂き、本チラシを印刷することができました。まるで綱渡りの様な日々を体験しております。



3日間で受任者83人！

さて、走りは加速しています。8月17日は「戦争しないまち・札幌は可能か？」と題して、森啓さん(北海学園大教授、当会共同代表)に地方自治の立場から、結城洋一郎さん(小樽商大教授)には憲法学の立場から対談していただきました。8月18日から20日まで、第2回沖縄戦パネル展が大通り地下街で開かれ、当会も参加し受任者を募りました。そこでは、3日間で83名の方が受任者になって下さいました。スタッフに加わるという人も出て、私達の青ざめていた顔にも赤みが差してきたところですよ。9月15日には山内徳信さん、9月29日には前田朗さんが応援に来てくださいました。8月中は毎金曜日に会議を持ち、署名開始後には毎日署名集約を行います。

無防備署名の動きを通じて、つくづく感じたのは、いわゆる運動

のプロではなく、非戦を願う人々がこんなに沢山いて、この運動を待っていたかのように、受任者になつてくださる事への驚きです。老人クラブに向いて話をさせていただく事が多いのですが、難しい説明抜きで「あの(戦争で苦しんだ)思いは二度と繰り返してはいけない」で受任者になつてくださいます。若い人達も「戦争いやだよ」でね、関係の支援をしてくれます。取り組んで良かった、出会う度に思います。

藻岩山から望む札幌市街



札幌ピラ

9月14日から法定数約3万2千筆と、大変な数字を積み上げていきます。札幌は、まだまだ人手もお金も圧倒的に足りておりません。全国の皆様の、カンパそして札幌現地での署名収集に対するご支援をお願い申し上げます。

振込先 郵便振替

02740464608
「無防備地域宣言をめざす札幌市民の会」